

新人大図鑑 2020

令和2年5月20日発行（毎月1回20日発行）  
第39巻第5号通巻460号  
昭和57年8月9日第三種郵便物認可

# 美術の窓

5  
May  
2020  
No. 440

THE WINDOW OF ARTS

## ＼全国 14 大学！／ 卒業・修了制作展レポート

- |          |            |
|----------|------------|
| 東京藝術大学   | 富山大学芸術文化学部 |
| 多摩美術大学   | 金沢美術工芸大学   |
| 武蔵野美術大学  | 愛知県立芸術大学   |
| 女子美術大学   | 名古屋芸術大学    |
| 東京造形大学   | 京都市立芸術大学   |
| 日本大学芸術学部 | 京都芸術大学     |
| 東北芸術工科大学 | 大阪芸術大学     |



未来のスターを  
探せ!

評論家、  
学芸員、デパート、  
画廊、編集部が選ぶ

**377**名  
一挙紹介

# 新人大図鑑 2020

中特集 吉村誠司

技法講座 金箔を使用した古典的油彩表現〈前編〉古吉弘

公募展便り 白日会展・日本南画院展・从展



# 続 理々佳

つづき・りりか 1998年8月6日生まれ、熊本県出身。獅子座、A型。崇城大学美術学科4年在籍。第40回熊本県高等学校美術展優秀賞（九州大会推薦）。第74回熊本県美術協会展熊本県立友の会賞。①ルドルフ・ハウズナー。②感情的な作品全般。

オモチャ箱って小さい時の宝物入れですよ。大好きな大切なものだから手放したくない。でも、もう大人だからね、って一旦しまうんですよね。そして、いつか不意に引っ張り出す。すごい素敵な思い出と一緒に。私は思い出をキャンバスというオモチャ箱に表現し仕舞い込みました。

「お前との思い出はオモチャ箱に」2019〜20年  
油彩、クレヨン、ラッカー、スプレー、キャンバス  
120号F





# 松村盛仁

まつむら・みつひと 1999年5月7日生まれ、熊本県出身。牡牛座、A型。崇城大学在籍。①カラヴァッジオ。②映画：「魔女の宅急便」。

モチーフとして家族を描こうと考えていたところ、偶然母と犬が寄り添っている様子が目に入り、美しい光景だと感じそれを描きました。大切な家族であるので、題名を「Family」とし、愛情を込めて描きました。

「Family」 2020年 油彩、キャンバス 100号F





# 湯谷友貴



ゆたに・ゆうき 1996年7月26日生まれ、熊本県出身。獅子座、A型。崇城大学卒業。同大学芸術研究科修士課程在籍。第96回白日会展入選。①Francis Bacon。②映画：「リトル・フォレスト」。音楽：カネコアヤノ、フジファブリック。

記憶をテーマにアルバム写真や風景をモチーフに作品制作を行っています。生活をしていく中で見えにくくなっていく記憶の曖昧さや不確かさなどを、描く行為を通して表現したいと考えています。



「卒業」2019年 油彩、キャンバス 150号F

畔田桃子「ほっとしている」一般佳作  
賞・会友推挙。フロアリングの部屋の中で  
絵を描く一人の女性。画面全体の鮮やかな  
色彩の扱いが魅力である。青や黄色、赤と  
いった色彩を上手く画面の中に配置してい  
きながら、落ち着いたこの女性のプライベ  
ートな空間を作っている。左下方のテーブ  
ルの上でたおれたコップから液体がこぼれ  
ていて、それをもう一人の人物が手でなぞ  
っているところに、また一つこの女性との  
関係性が生まれてきていて興味深い。

畔田桃子「ほっとしている」一般佳作賞・会友推挙





湯谷友貴「卒業」

湯谷友貴「卒業」。卒業式の時に撮った集合写真を個性を鈍らせたかのような表現で描いている。若い教師が中央に座り、赤いジャケットを着た子供たちが卒業証書を手にもって座る。背後にはその両親が立って並んでいる。全員が笑みを浮かべずに、ほんやりとした表情をしているところに独特の薄気味悪さを感じられて面白い。記憶が薄れていくことで個性も埋没していくという、大人になってから思い起こしても思えない曖昧な時の断片といった雰囲気を感じられた。

続理々佳「お前との思い出はオモチャ箱に」。下着姿の女性が花瓶に生けられた花を運んでいる。背後には様々なモチーフがイメージとなって浮かび上がる。画題から察するに、以前交際していた男性との思い出のイメージなのだろう。これでもかと言わんばかりの密度を持ったモチーフあるいはイメージによる空間が実に面白い。現実でありながら非現実感が重なった、過去と現在を行き来した中から掴み取ったイメージの表れのような雰囲気を感じられた。

続理々佳「お前との思い出はオモチャ箱に」



松村盛仁「Family」。一人の女性が部屋に座り、犬に手を添えている。どちらも何か弱々しい雰囲気を見せる。鈍い光が画面の中に広がり、寄り添う女性と犬を優しく包み込んでいくようだ。僅かな悲哀も感じさせながら、心温まる情景を描いている。

松村盛仁「Family」

